

国譲り神話と憲法第9条

(文中のURLはクリックしてください。)

出雲神話と生駒神話が描く国譲り神話<注1>は、世界に類を見ない「戦いを否定する神話」であり、侵略についての解決の道を示している神話といえます。国譲り神話に見られる日本人の、「何より命を大切にし、知恵により争いを解決せんとする戦いを忌避する精神」が、先のアジア太平洋戦争を経てよみがえり、戦後日本人の集団的無意識となりました<注2>。この精神が、憲法第9条を日本に根付かせ、戦後の改憲（憲法第9条廃止）の動きを抑えてきました。また、戦争法制定に際しての広汎な反対運動を引き起こしました。2015年9月19日に戦争法は強行制定されてしまいましたが、この精神の集団的無意識は粉砕されたわけではなく、**いずれ、「何より命を大切にし、知恵により争いを解決せんとする戦いを忌避する精神」の集団的無意識が戦争法を粉砕する**でしょう。

<注1>生駒の神話と現代 (<http://v1.cocolog-nifty.com/blog/files/2.pdf>) ご参照

<注2>戦後日本人の戦争忌避精神は集団的無意識 (<http://pdffile.cocolog-nifty.com/blog/files/52.pdf>) ご参照